

鳥海塾で学ぶみなさんへ

未来は誰が作るものでしょう。まだ意識できないかもしれませんが、10年、20年、その先を世の中を動かし作っていくのはみなさんです。誰もが最初はこどもで、あらゆるものは与えられるのが普通だと感じます。その中から力を付けた人が、どんどん与える側にまわります。

みなさんの中には力の種がたくさんあります。それをどの方向に伸ばして行くかは、みなさんの心次第です。今、色々な問題が世界・社会に渦巻く中、それを解決する助けとなる力を伸ばしていきませんか。

第2段階とジュニアメンターについて

東北公益文科大学 公益ジュニアドクターセンターでは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 主導の下、第1段階では飽きたらない塾生を対象として、現在第1段階を受講している人を対象に以下の2つのコースを用意します。

【第2段階課程】 公益大(または関連機関)のゼミ等に参加し課題解決のための研究を進める(進級式令和5年2月18日)。

【ジュニアメンター】 次年度のジュニアドクター第3期生の学びに補助員として参加し、s4や重要な回でのサポートやPC操作法・プログラミング・情報技術のアドバイスをこなうことで1年目に得た知識の強化とリーダーシップの向上をめざす(任命式令和5年2月18日)。

「第2段階課程」は現在の受講生からの選抜を経て、とくに優れた学びを修めた最大10名が進むことができます。第2段階を希望しつつ選抜にもれた場合、あるいは最初からジュニアメンターのみを希望する場合は、もれなくジュニアメンターに就任することができます。

研究生制度について(中3)

【ジュニアリサーチャー】 現在中学3年生限定。選抜方法と学びの中身は第2段階課程と同じだが所属と研究成果発表の場が異なる。開始の最終本人意思決定は令和5年5月末日とする。

来年度高校進学する生徒限定の制度です。研究の進め方は同じですが、JSTとは別枠で本学独自の研究生を養成します。なお、中学生から高校生へと環境が大きく変化し通常の学習に必要な以上の負荷がかかることを避けるため、高校入学後最大2ヶ月の観察期間を経て課程履修の判断をしてもらいます。それ以外は同じですので、この後の説明では「第2段階」の部分を参考にしてください。

ジュニアドクター第2段階で取り組むこと

これまで学んだことを応用し、第2段階では身の回りに存在する実際のできごとの特徴を捉え、自らのアイデアを活かした問題解決に挑戦し研究発表できるところまで到達します。

第2段階に進む条件

第2段階での学びがジュニアドクター育成塾本来の目標です。自分の力で未来を切り開くことを真剣に考えられること、そしてその力を伸ばすことに継続的に取り組めることが重要です。

第2段階への進級は選抜制で以下のことが条件となります。

1. 第2段階進級を本人が希望すること
2. 第1段階の標高が基準点である1580mに達していること(修了時)
3. 最終課題発表までの第1段階学修の全般的な取り組みが優れていること
4. 論理構成力、計画力、継続力、記録力、失敗力等を身に付けたい強い意志が認められること

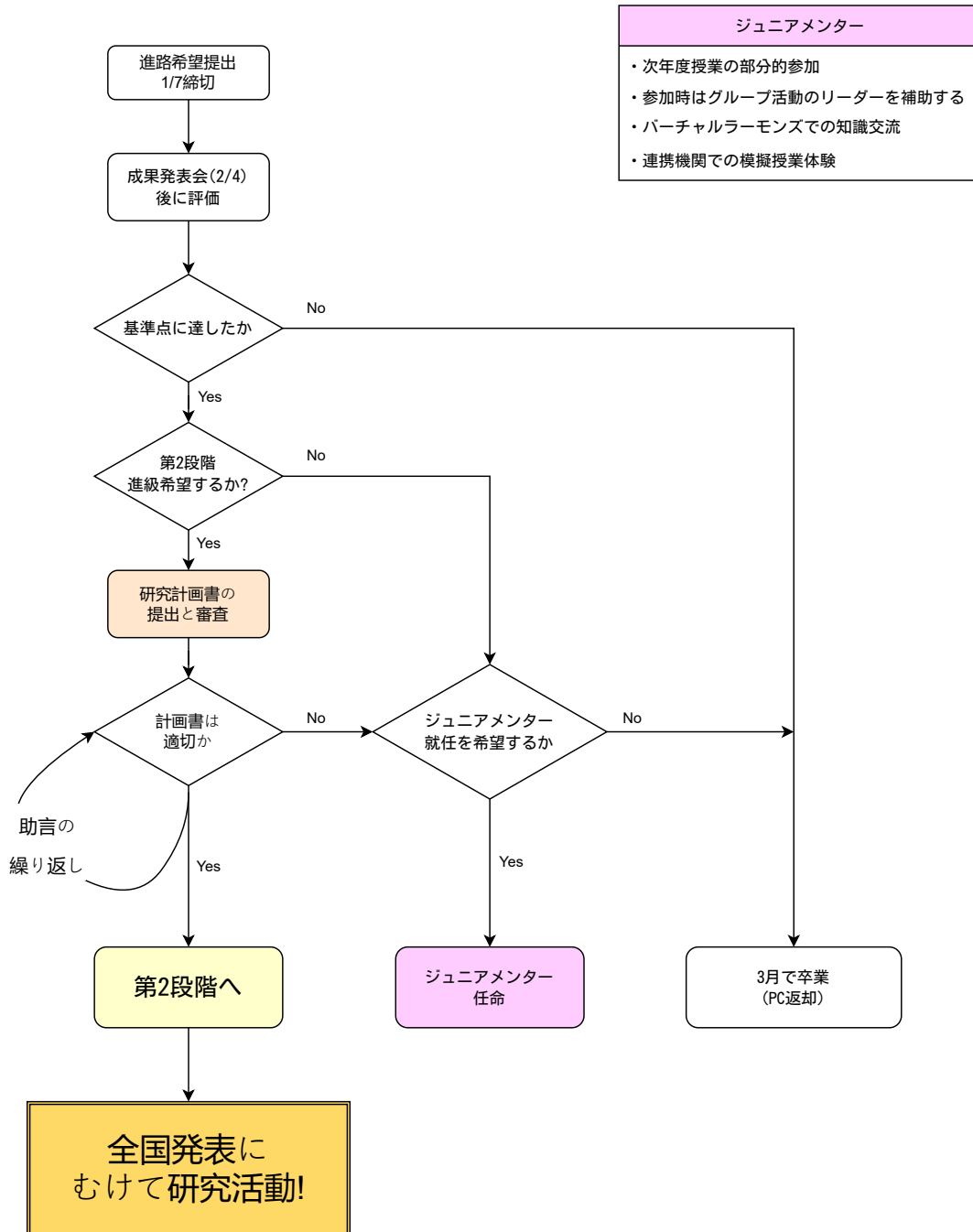
なお、第2段階を希望しつつ選抜からもれた場合、ジュニアメンターとして参加し続けるか、あるいは卒業するかを明確にしておく必要があります。

第2段階とジュニアメンターの比較

	第2段階課程	ジュニアメンター
活動頻度	数週間に一度指導教員と相談の上目標が達成できるペースで進める。	3期生の授業日程のうち学業や課外活動に影響の出ない日に参加する(事前予約制)。
主な活動	テーマを設定して 研究活動 を進める。	3期生との交流を深めつつ知識をより深くする。また数回の特別学習に受講生として参加する。
必要な心構え	楽しくかつ着実に探究を進め、学びに対して大胆かつ謙虚であること。	学業最優先とし謙虚な姿勢で仲間とともに 正しい知識 を学ぶ姿勢を貫くこと。
活躍の場	研究室・オンライン会議による研究ののち全国での成果発表(ジュニアリサーチャーの場合は別枠設定の研究発表)。	s4・バーチャルラーモンズでのアドバイス、授業補助。

ジュニアドクター鳥海塾
第2期生 第2段階選抜フロー

令和4年12月3日



第2段階を視野に入れている保護者の方へ

第2段階を希望するかどうかの最終決定は、本人の意志を最優先としてください。何かを知って、その次を教えてもらって、また知りたいことが増える、という循環を楽しんでいる姿が見えているようであれば、どうぞ自信を持って背中を押してあげてください。逆に、知識のサイクルを楽しめていないようであれば、飽きが来てしまい苦痛が訪れる可能性もあります。

様々な学びを最大限に吸収できるタイミングは今の学年です。それは質問力が衰えていないからです。大学生ともなると、質問したいことがたくさんあっても大人を質問攻めにするのはめったにありません。先生が忙しそうだと遠慮できてしまうほどに**大人**です。また、高度な質問でなければ恥ずかしいと勝手に蓋をしてしまいます。**大人**になってから芽吹かせるのはなかなか困難です。

小中学生は無限の体力で質問します。取るに足らない質問も臆さず繰り返します。実は意味のなさそうなことがらに深い真理が隠れているので、それをきっかけに次々と新しい真理に出会うことができます。もちろんそれは何でもいい、というわけではなく、限られた高いステージに来た場合の話で、第2段階に進む子たちはそのステージに立っています。

仮に2年目の課程を修めることになれば、保護者の皆様にも相応の時間的負担がかかってくると思います。我々大人は、未来を託す思いで学びの機会を提供することに労力を分け合うことが必要だと考えます。すくなくとも我々には塾生たちが未来の研究者・科学者になる未来が現実的なものとして見えていますし、たとえそうならなくても刺激的な知識を受け取り、未来に役立ててほしいと願っています。子どもたちの『未来を作る挑戦』に敬意を払ってご協力をお願いしたいと思います。

なお、第2段階を順調に歩み始めた後でも状況や環境の様々な変化により、楽しく研究活動が続けることが困難になる場合があります。そのような場合は常に本人に寄り添う姿勢を保ち、その後の判断等について公益ジュニアドクターセンターまで随時ご相談ください。

ジュニアメンターを望む塾生の保護者の方へ

ジュニアメンターは次年度入ってくる第3期生のために、経験者として学びのサポートをする活動を通し、自らの知識の補強・小集団でのコミュニケーション技術とリーダーシップの育成、自己管理力の向上を目的としたチーム活動です。

やってみたいというお子様にはおそらく、これまで鳥海塾で広がったコミュニティに愛着を感じ、この関係を保持したい気持ちはあると思います。それだけでなく、「誰かの役に立つこと」、「より高度なものに粘り強く取り組むこと」が結び付いているかを確認してみてください。活動には守るべき約束もいくつかあるため、楽しいだけでなくやり遂げる精神も必要なことを理解した上でなければ、協力してくれる周囲の人々に無理が及ぶだけになってしまいます。

自覚を持っての参加であれば、とてもやりがいのある活動になると信じています。もし参加してもらえるのであれば、送迎等数回のご負担をお願いする可能性がありますのでその場合はご協力をお願いいたします。

『第2段階』・『ジュニアメンター』進路希望票

1月7日までに提出
(手元に控えをお残してください)

塾生 ID(j22xx):

氏名:

保護者名:

希望の記入

第1段階で十分な成果が残せた場合、研究活動を進めるために 第2段階に進む ことを希望しますか。	はい ・ いいえ
(第2段階に進まない場合に限り) ジュニアメンター としてサポート・学習活動に参加することを希望しますか。	はい ・ いいえ

第2段階を希望する場合

私は、ジュニアドクター鳥海塾第2段階に進んだ場合世の中の様々な問題に焦点を当て、深く掘り下げ、無理のない計画で楽しく着実に探究活動を進めることを誓います。	(誓う場合は本人記名) []
講義を通じて興味を感じ、研究してみたいと思った分野すべてにマルをつけてください。	地域文化 (言葉)、交通心理、産業技術、天文学、宇宙科学、防災
研究してみたいことをできるだけ具体的、またはたくさん書いてください:	

ジュニアメンターを希望する場合

(第2段階と両方希望する場合も書いてください)

私は、ジュニアドクター鳥海塾ジュニアメンターに選ばれた場合これまでの学びをより正しく深くしつつ仲間の学びを尊重しながらサポートします。外部の人に個人情報をお漏らしたりせずプライバシーや人権に配慮しながら活動を進めることを誓います。また、 学校での学業や課外活動を優先 し、それらに影響が出ないようにこの活動を進めます。	(誓う場合は本人記名) []
会話の苦手な友達に接するとき心がけていることを書いてください:	

12/17, 1/7の授業で持参するか、記入したものの撮影画像を jd-entry@e.koeki-u.ac.jp 宛にお送りください。写真の場合は明かりの反射や手ブレなどによる不鮮明箇所がないようご注意ください。到着の次の平日までに受領確認を送信します。それが到着しない場合は再送をお試しの上公益ジュニアドクターセンター 0234-41-1115 までご連絡ください。